

クロアチア情勢

主な出来事

2016年1月

内政

- 11日、ザグレブ県裁判所において、サナデル元首相(元クロアチア民主同盟(HDZ)所属)に対する汚職疑惑のある「プラニンスカ通り事件」の公判が実施され、サナデル元首相が被告側答弁を実施。
- 13日、グラバル＝キタロビッチ大統領は、大統領府において、オレシュコビッチ首相候補と経済問題並びに外国投資を惹きつけ、クロアチアのビジネス環境改善に向けた両者協働の可能性等を協議。
- 14日、ミラノビッチ連立与党政権最後の閣議開催。
- 14－16日、グラバル＝キタロビッチ大統領は、ブコバル市(当国東部)に臨時大統領事務所を開設。15日、東部スラボニア、バラニャおよび西スリエム地方のクロアチアへの平和的統合(1998年1月15日完結)に関するシンポジウム(大統領が後援)に出席。
- 22日、クロアチア議会が召集され、オレシュコビッチ新首相による新政府(HDZ率いる中道右派連合「愛国同盟」およびMOSTを中心とする連立政府)が承認(賛成:83, 反対:61, 棄権:5)され発足。右議会審議中の夕刻に、「愛国同盟」、MOSTおよび「ミラン・バンディッチ365」の各党派首らが、連立政府協力合意に署名した。
- 28日、野党議会議員51名は、ツルノヤ退役軍人相への不信任決議案を提出。その後、同日の同相辞任を受けて、右動議は取り下げられた。
- 28日、ツルノヤ退役軍人相が辞任。後任着任までの間、ナジ同省次官(社会民主党(SDP)所属)が大臣代行を務める。
- 29日、与党第1党HDZ率いる「愛国同盟」、同第2党MOSTおよび与党「ミラン・バンディッチ365」は、3者連立政府協力合意に基づき、「協力評議会(Council for Cooperation)」を設立。右評議会は16名のメンバーで構成される(首相は右評議会には参加しない)。

外交

- 4－5日、グラバル＝キタロビッチ大統領は、米国・ミネソタ州を訪問し、デイトン・ミネソタ州知事と会談(4日)。今次訪問は、クロアチア軍とミネソタ州軍の協力20周年を記念したもの。ロブリッチ・クロアチア軍参謀総長が同行した。

- 10日、クロアチア警察艇「トルサット(Trsat)」および4名のクロアチア警官は、欧州域外国境管理庁(Frontex)が2015年末より開始した「ポセイドン緊急介入」オペレーションに参加するため、ギリシャに向けて出航。
- 12日、外務・欧州問題省は、在クロアチア・スロベニア大使館に対し、昨(2015)年より同国政府がクロアチア国境沿いに設置しているフェンスの早急な撤去を要請する抗議書簡を発出(8度目)。
- 13日、スロベニア外務省は、クロアチア海上警備艇およびクロアチア漁業監督船が、スロベニア領域と主張しているサブドリヤ湾(スロベニア側名称:ピラン湾)内に侵入したとして、在スロベニア・クロアチア大使館宛に抗議書簡を提出。また、クロアチア側からのフェンス撤去要請に対し、同フェンスは、シェンゲン領域国境を管理し、非国境検問所からの制御不能な大量の移民流入を防止するための「一時的な技術的障害物」であり、両国間の国境問題の解決を予断するものではない旨説明。
- 13日、環境・自然保護省は、ベレビット北部(当国中部)のブナ林およびパクレニツァ国立公園(当国中部)が、ユネスコ世界遺産候補リストに掲載された旨発表。
- 14日、オレシュコビッチ首相候補は、ブイッチ中央銀行総裁と共に、オーストリア・キッツビューエルで開催された UniCredit 主催国際投資会議に出席。
- 20日、外務・欧州問題省は、スロベニア政府からのサブドリヤ湾(ピラン湾)でのクロアチア海上警備隊の領域侵害に関する抗議書簡に対し、事実無根と反論する書簡を在クロアチア・スロベニア大使館に提出。
- 24日、グラバル＝キタロビッチ大統領は、パホル・スロベニア大統領との非公式会談のため、スロベニア・オトチェツを訪問。難民の「バルカンルート」となっている国々との協力や次回「唄・クロアチア・スロベニア」三者首脳会談をクロアチアで開催することにつき意見交換。
- 27-29日、グラバル＝キタロビッチ大統領は、ポーランドを訪問し、ドゥダ・ポーランド大統領、シドゥウォ同首相、クフチンスキ同下院議長およびカルチェフスキ同上院議長と会談。また、アウシュビッツ強制収容所跡地において開催された71周年国際ホロコースト追悼記念日式典に出席(27日)。28日には、ポーランド・クロアチア経済フォーラムが開催された。
- 29日、オレシュコビッチ首相は、スロベニアを訪問し、ツェラル・スロベニア首相と初会談。
- 29日、コバチ外務・欧州問題相は、就任後最初の外遊先としてボスニア・ヘルツェゴビナ(BH)のサラエボおよびモスタルを訪問。サラエボにおいて、BH大統領評議会メンバー(チョービッチ大統領評議会議長、イゼトベゴビッチおよびイバニッチ同メンバー)、ズビズディッチBH首相、ツルナダクBH外相らと会談した。
- 29日、プポバツ議会議員(独立セルビア人民民主党(SDSS)副党首、セルビア民族評議会(SNV)議長、前議会外交委員長)は、セルビア・ベオグラードを訪問し、ブチッチ・セルビア首相およびダチッチ同外相と会談。

経済

- 1日、消費者破産法が施行。同法は3万クーナ超の債務につき3ヶ月間返済が出来ない場合、当該支払不能者は破産を申請できるというもの。
- 7日、ロレンツィン観光相は2015年の観光客数を公表。昨年1410万人(対前年比8.3増)の観光客がクロアチアを訪問し、国別では独からの観光客が最も多く210万人(対前年比6.3%)であった。
- 14日、クロアチア中央銀行は昨年第3四半期末の対外債務を公表。470億ユーロ、対GDP比(うち1/3が一般政府による債務)で107.6%と2014年末時点より3.3億ユーロの増加となった。
- 15日、信用格付企業S&Pは、クロアチアのソブリン格付けを公表。長期を「BB」(外貨および本国通貨建て)、短期(同)を「B」とそれぞれ据え置いた(いずれも投機的等級)。見通しについては、6年間の不況は終了したとしつつも、2016年の成長は外的要因に大きく依存し比較的弱いものとなるとして、「ネガティブ」のままとした。
- 27日、オレシュコビッチ首相、マリッチ財務相およびブイッチ・クロアチア中央銀行総裁は、国際通貨基金(IMF)のサクル(Khaled SAKR)新クロアチア訪問団長およびウィーガンド(Johannes WIEGAND)前同団長と会談。
- 30日、信用格付企業フィッチは、クロアチアのソブリン格付けを公表。長期外貨建て発行体を「BB」、長期本国通貨建てを「BB+」とそれぞれ据え置いた(いずれも投機的等級)。見通しについては、オレシュコビッチ新首相の政治経験の欠如を不安要素として、「ネガティブ」のままとした。

主要経済指標

(2015年月次データ, 対前年同期比(除く失業率), 政府統計局発表)

輸出総額 (11月)	輸入総額 (11月)	貿易赤字 (11月)	工業生産高 (12月)	インフレ率 (12月)	失業率(登録制) (12月)
+11.5% (804億クーナ, 106億ユーロ)	+7.1% (1296億クーナ, 170億ユーロ)	-0.1% (491億クーナ, 64億ユーロ)	+1.0% (11月:2.7%)	-0.6% (11月:-0.9%)	17.9% (11月:17.7%)

本クロアチア情勢は、クロアチアの政治・経済情勢を中心に各種報道、発表をとりまとめたものですので、記載事項については在クロアチア日本大使館の見解を示すものではなく、特定の団体・個人の利益を代表するものではありません。